

当事者・家族部会で 初めて開いた茶話会



10月19日に、当事者・家族部会で、障がいの理解促進とつながりを広めることを目的に、障がい当事者・家族、市議会議員、民生委員、ボランティアなど計30人が参加して茶話会を開きました。

茶話会では、「防災訓練をきっかけに、地域の関係が広がった」という話や「知的障がいのある息子が、周囲との違いを感じ取り、地域行事への参加に抵抗を感じている」といった話題があり、当事者・家族はどのように地域と関わったらいいのか、地域では何を支援できるのかを考える機会になりました。

参加した方々からは、「なかなか聴く機会がない障がい者の本音や悩みを知ることができてよかった」「年の離れた世代とは話す機会がないので、話せてよかった」「参加者には、茶話会で感じたことや障がい理解について、地域の中へ広めていってほしいと思う」といった感想がよせられました。

障がいのある方もない方も関係なく、より多くの市民に『障がい』について知ってもらおうと

障がい者基幹相談支援センターだより

No.26

共に、地域でのつながりが広まるよう、今後はもっと自由に、互いに語り合える場を提供していきます。どなたでもお気軽にご参加いただければと思います。



大きいテーブルでいろいろと話しました

■問合せ先

障がい者基幹相談支援センター

☎ 055(262)1274